

# MYプラ「ホタロッカー」導入

あらかると

アラカル



Myプラ「ホタロツカー」

<p>の育成を目指している。そのためにも同校は生徒の学習しやすい環境を充実させ、施設・設備の整備に取り組んでいる。</p> <p>Myプラ</p>	<p>いきました。スチール製のロッカーは使っているが、錆びひびく劣化が進み、歪んできました。そこで、スチール製の代わりのものを探して使った。そんなとき、DMを通して知ったのが『ボタロッカー』でした」と語る。</p>
<p>「ボタロッカー」(株)E</p>	<p>他社のロッカーと比べ、「ボタロッカー」を</p>

「道を修めた有為な人材の育成」を建学の精神に掲げ、中学・高校の6年間の成長段階にに応じて、学習意欲を高める多彩な取り組みを行っている修道中学校・修道高等学校（広島市中区）。従来の「知識・技能」の習得のみならず、「思考力・判断力・表現力」の育成を目指している。また、「主体性・協働性」を備えた「真のリーダー」を育て、同校では縦長のスチール製のロッカーを使用していた。竹川誠事務長は「15年以上スチールロッカーを保管するロッカーとして好評だ。

導入することに決めた。竹川事務長は「金額面、教員の評価、使いやすさ、企業の導入実績などから判断して、『ホタロッカ―』に決めました」と導入の経緯を語る。特に「プラスチック製であるので軽いが丈夫であること」「1台1台のロッカーが独立しているので、クラス人数の変動（ロッカーの配置移動）に便利であること」「万が一破損しても部品の交換が容易であること」などが優れている。また、このロッカーの大きな特徴は、扉の一部に使われている特殊蓄光素材が発光するので、災害時や停電時等に対応し、避難する道標となることだ。

色はライトブラウン、Lサイズのロッカー、2018年に高校生用918台、今年4月に中学生用918台を導入した。同校では今年度からFLPD (Future Leaders Program) が始まる。中学3年時に生徒は

オーストラリアの大学で行われる「UNSWコース」、国内で行われる「SHUDOCコース」のどちらかに参加し、未来のリーダーとしての資質と能力を高めるプログラムだ。いずれも使用言語は英語。また、PBL (Project - Based Learning) は昨年度から始まっている。この課題解決型学習を通じて、主体性と協働性を培うのが目標だ。

衛生対策に「砂場シート」

小動物の糞尿から砂場を守る「砂場シート」が注目されている。

近年のペットブームの問題で、雑菌の影響で使

用者の健康を害するため保健所では警鐘を鳴らしている。この問題を受けて各地の幼稚園や保育園では砂場を使用していたらすぐに砂場シートで覆うことが徹底されているようだ。砂場シートはも

策が (株) 特徴 エー する。 され